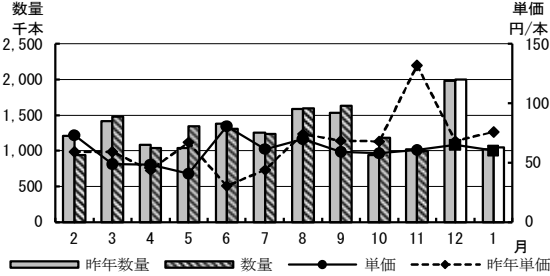
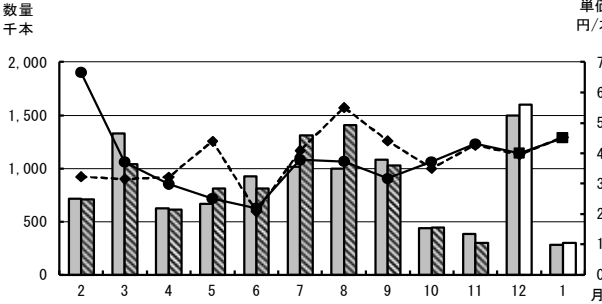
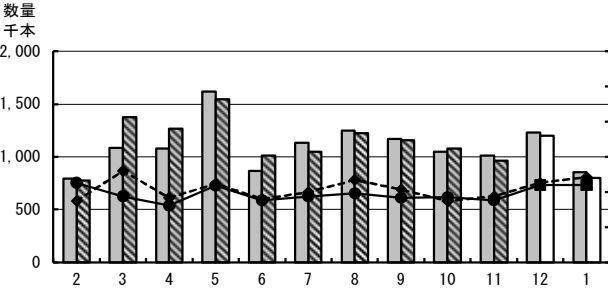
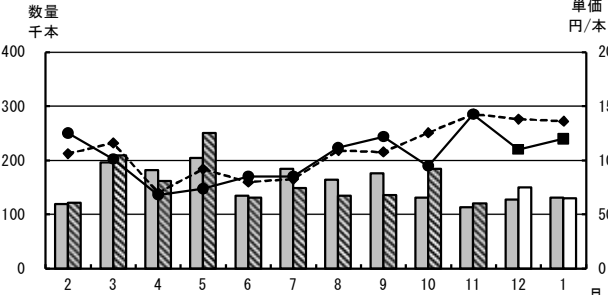


切花・鉢花の1月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 1月5日現在）

単位：千本、円／本

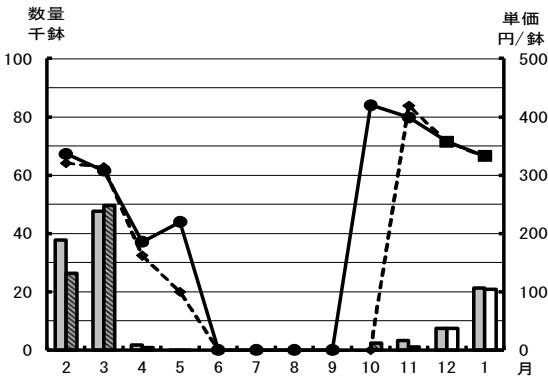
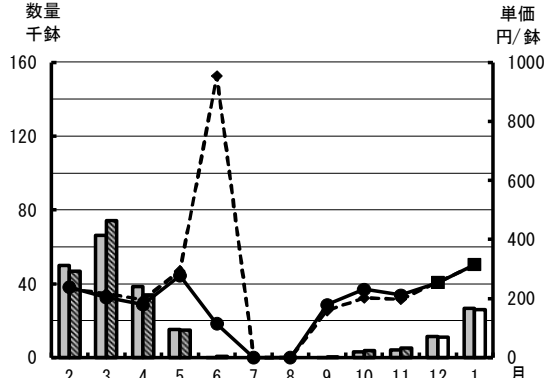
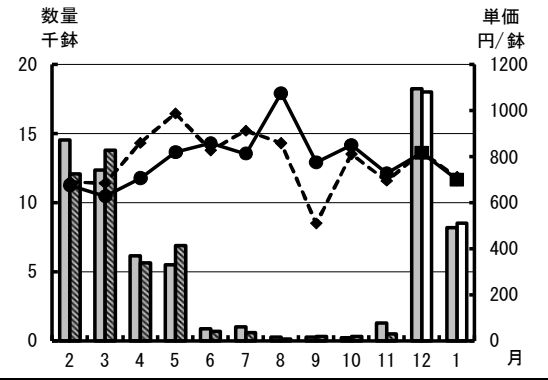
品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実績	2021年	1, 2 2 2	3 3	
		2022年	1, 1 1 1	5 5	
		2023年	1, 3 2 4	5 3	
		2024年	1, 0 4 2	5 3	
		2025年	1, 0 2 6	7 6	
	5ヵ年平均		1, 1 4 5	5 3	
	2026年見通し		1, 0 5 0	6 0	
概要	愛知中心の入荷となる。上旬は入荷量が少ないものの、中下旬は徐々に入荷が安定してくる見込み。業務需要の動きにより、上位等級を中心に価格は高く推移する見込み。				
小 ぎ く	実績	2021年	5 4 2	3 2	
		2022年	6 4 1	2 7	
		2023年	5 2 8	4 2	
		2024年	5 0 9	3 1	
		2025年	2 8 2	4 5	
	5ヵ年平均		5 0 0	3 4	
	2026年見通し		3 0 0	4 5	
概要	沖縄中心の入荷となる。上旬は入荷量が少なく推移するものの、中旬以降は徐々に安定する見込み。ただし、全体的に数量は多くなく、出回り量も多くないため、価格は高めで推移することが見込まれる。				
カー ネー シ ョ ン	実績	2021年	7 3 5	3 5	
		2022年	7 6 4	5 0	
		2023年	7 8 8	5 9	
		2024年	8 4 1	4 0	
		2025年	8 5 5	6 0	
	5ヵ年平均		7 9 7	4 9	
	2026年見通し		8 0 0	5 5	
概要	愛知、輸入中心の入荷となる。輸入商材は引き続き円安の影響を受けており、国産は昨年並みであることから、入荷量はやや少なめとなる見込み。				
か す み そ う	実績	2021年	1 1 8	7 6	
		2022年	1 2 3	1 0 6	
		2023年	1 4 0	9 4	
		2024年	1 5 0	7 8	
		2025年	1 3 1	1 3 6	
	5ヵ年平均		1 3 2	9 8	
	2026年見通し		1 3 0	1 2 0	
概要	和歌山、高知、熊本からの入荷となる。前進気味の出荷物は、12月下旬に硬めの切前で無理な出荷が行われたため、上中旬は少なめの入荷となる見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分	実績等	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
ゆり	実績	2021年	1 6 9	1 7 9	
		2022年	1 7 8	2 2 1	
		2023年	1 8 0	2 3 6	
		2024年	1 6 9	1 9 9	
		2025年	1 7 6	2 7 4	
	5 カ年平均		1 7 4	2 2 2	
	2026年見通し		1 7 0	2 4 0	
	概要	オリエンタルユリは高知、宮崎、埼玉、愛知などから、鉄砲ユリは高知、鹿児島から、LAユリは埼玉、高知からの入荷となる。各種ユリは生産量の減少により、年明けは落ち着いた入荷となる見込み。			
洋らん	実績	2021年	2 7 4	7 8	
		2022年	2 6 3	1 1 0	
		2023年	2 4 3	1 3 8	
		2024年	2 5 7	1 0 4	
		2025年	2 7 8	1 6 7	
	5 カ年平均		2 6 3	1 1 9	
	2026年見通し		2 7 0	1 5 0	
	概要	高知、徳島、愛知、静岡などの国産に加え、輸入品が入荷となる。オンシジウムは入荷が減少しているが、徐々に増加する見込み。デンファレは例年並みで、徐々に増加する見込み。シンビジウムは国内産に遅れがあり、多少増加する見込み。コショウランは輸入は潤沢な状況にあるが、国内産は引き続き品薄となる見込み。カトレアは出荷遅れがあり、今後は徐々に増加する。			
ばら	実績	2021年	4 1 0	7 8	
		2022年	4 6 2	9 9	
		2023年	5 2 0	1 0 0	
		2024年	5 2 2	9 9	
		2025年	6 1 1	1 0 1	
	5 カ年平均		5 0 5	9 6	
	2026年見通し		5 5 0	1 0 0	
	概要	愛知、岐阜、三重、輸入中心の入荷となる。例年並みの入荷となる見込み。上旬は成人式需要により、染めバラの注文が一般化してきている。			
枝ももの	実績	2021年	8 1 2	5 1	
		2022年	1, 1 1 0	5 4	
		2023年	9 2 1	6 6	
		2024年	9 0 7	5 6	
		2025年	1, 0 0 2	6 5	
	5 カ年平均		9 5 0	5 9	
	2026年見通し		9 5 0	6 0	
	概要	例年どおり、コデマリ、桃、レンギョウ、山州などの出荷が徐々に始まる。春節は2月17日であることから、20日頃から旧正月向け輸出が増加する一方、国内の動きは月末に向けて鈍化する見込み。			

品目	区分 実績等	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
エ リ カ	実績	2021年	9, 4 8 8	1 7 6
		2022年	7, 6 7 2	2 4 8
		2023年	5, 8 6 2	2 8 3
		2024年	5, 9 8 0	3 0 0
		2025年	5, 6 2 1	2 3 7
	5ヵ年平均	6, 9 2 5	2 4 1	
	2026年見通し	5, 3 0 0	2 2 0	
		<p>入荷量は、前年同様に猛暑の影響によりロスが多く、減少する見込み。鉢サイズは、3.5号～4号が中心であり、手頃な価格帯の引き合いが強まる見込み。全体市況は、年始の好相場がつく月初から、寒さが厳しくなる月末に向けて弱含みで推移する見込み。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位山梨（45.3%）、2位愛知（18.4%）、3位新潟（16.0%）となっている。</p>		
プ リ ム ラ	実績	2021年	2 9 0, 7 5 3	1 0 4
		2022年	3 5 7, 6 7 6	9 6
		2023年	3 1 2, 3 7 6	9 9
		2024年	2 7 3, 4 6 0	1 0 4
		2025年	2 8 0, 0 0 9	1 2 0
	5ヵ年平均	3 0 2, 8 5 5	1 0 4	
	2026年見通し	2 7, 0 0 0	1 1 0	
		<p>入荷量は前年並かやや減少する見込み。出荷の中心は3～4号で、年内出荷の遅れから年明け直後は出荷量が増える可能性がある。一方、中旬以降に出荷予定の山上げしていない苗は猛暑の影響によりロスが多く、特にジュリアンは出荷量が減少する見込み。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（33.2%）、2位埼玉（15.9%）、3位奈良（13.8%）となっている。</p>		
チ ュ ー リ ッ プ	実績	2021年	3 6, 8 0 0	2 0 8
		2022年	3 9, 6 9 2	2 3 3
		2023年	3 9, 2 4 2	1 9 6
		2024年	3 0, 4 2 0	2 1 5
		2025年	2 5, 4 2 7	1 8 6
	5ヵ年平均	3 4, 3 1 6	2 0 9	
	2026年見通し	2 3, 0 0 0	1 8 0	
		<p>入荷量は減少する見込み。球根代高騰もあり、前年同様1月は3号中心の芽出し出荷が主となり、その後は4号の出荷が増える見込み。球根代高騰で、注文単価は前年より多少上がる可能性はあるが、競売が厳しい予想の為、平均単価は前年より多少下がる見込み。今後は円安も重なり、球根代の高騰で生産量・出荷量が大幅に減少する見込み。</p> <p>前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（39.3%）、2位奈良（18.8%）、3位茨城（18.6%）となっている。</p>		

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリ	実績	2021年	34,967	286	
		2022年	38,213	290	
		2023年	27,909	296	
		2024年	19,659	340	
		2025年	21,260	331	
	5ヵ年平均		28,402	303	
	2026年見通し		21,000	333	
ア	概要	入荷量は4号、5号については前年よりやや減少する見込み。開花は品種や色により一部遅れが生じる可能性があるものの、全体としては順調な出荷となる見込み。愛知産に限れば生産はやや微増する見込み。前年に続き、6号等の需要は厳しい見込み。 前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉（53.6%）、2位愛知（13.5%）、3位奈良（10.4%）となっている。			
マーガレット	実績	2021年	30,759	217	
		2022年	39,139	240	
		2023年	33,688	257	
		2024年	27,994	261	
		2025年	26,885	312	
	5ヵ年平均		31,693	255	
	2026年見通し		26,000	315	
ト	概要	入荷量は前年よりやや減少する見込み。上旬は品揃え需要により、前半は中値での推移が見込まれる。3.5号～5号中心の入荷となるため、中盤以降は特に5号以上が厳しい取引が予想される。 前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（22.0%）、2位埼玉（16.7%）、3位栃木（14.8%）となっている。			
デンドロビウム	実績	2021年	13,085	617	
		2022年	11,882	709	
		2023年	8,881	687	
		2024年	7,581	649	
		2025年	8,197	711	
	5ヵ年平均		9,925	672	
	2026年見通し		8,500	700	
ウム	概要	入荷量は前年より増加する見込み。年内出荷予定分の遅れが前半に多くなると見込まれるほか、小鉢ものを中心に引き合いが強くなる見込み。 前年1月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（47.0%）、2位岡山（29.8%）、3位高知（9.8%）となっている。			